

観光施設メディアラボ

公益社団法人国際観光施設協会編



公益社団法人国際観光施設協会
技術委員会 ホテル都市分科会
(株)ユニオン 品質技術部次長

田河 寿一

パニックハンドルとは

一瞬でも素早く避難することは自分の命に直結します。非常口の避難扉まで辿り着いても、簡単に開かなくては逃げることはできません。このような箇所にパニックハンドルはとても適しています。

避難扉は法律で押して開ける方向にすることになっています。パニックハンドルはハンドルを押すだけで鍵も解錠し、その“押す”という動きのまま扉も開く、文字通りワンアクションで避難できるツールです。

現在の日本のホテルの現状

日本の多くのホテルでの避難扉には、レバーハンドルの非常解錠装置付きが多く設置されていると思います。上の鍵の部分に小さなアクリルの箱が取り付けられ、いざ非常時にはそのア

クリルを割ったり、外したりして鍵に取り付けられた非常のボタンを押したり、ツマミを回したり、スライドなどの操作を行って鍵を解錠し、レバーを回して扉を開け脱出するといった錠前です。その扉を開けるには合計4つのアクションが必要になり、緊急時のパニック状態ではスムーズに開けられないという恐れがあります。

それを解決するために開発されたのが、パニックハンドルです。たとえ停電などで暗闇に包まれても、非常口に辿り着ければ前述のようにワンアクションで避難ができます。手で押す動作だけでなく体ごと体当たりしても施錠が解錠され扉をあけることができます。(写真①)



写真① パニックハンドル

海外のホテルの現状

海外を見ますと、欧米、アジア圏では一般的にパニックハンドルが取り付いています。なぜ海外ではパニックハンドルが多いかというと、パニックハンドルの設置が法律で義務付けられているからです。災害などで集団がパニックになり、一斉に出口に殺到して幼い



写真② 海外ホテルの設置例

子どもが挟まって圧死するなどの痛ましい事故があり、一定の広さの建物に対してこの法律の制定が定まりました。この法律により、避難経路に面する扉は、ほぼすべてパニックハンドルが取り付けられています。(写真②) 避難におけるパニックハンドルの有効性がとても認知されています。

翻って、日本は幸運にも海外のような事故がなく、法律はありません。しかし、近ごろは少しずつですが、外資系のホテルブランドが標準仕様として日本でも導入を義務付けたり、国内資本のホテルでも設置検討のお話が増えてきました。多数の人が集まる宴会場などの扉にもパニックハンドルを検討する動きが出てきています。(写真③) しかしまだまだ幅広くは認知されていないのが現状です。

パニックハンドルの種類

今までは写真②③のようなアーム型ハンドルが多く使用されてきました。しかし、可動時にパイプに物が挟まる可

ホテルの安全・安心40 避難口でのパニックハンドルの活用

公益社団法人国際観光施設協会 技術委員会 ホテル都市分科会
(株)ユニオン
品質技術部次長

田河 寿一



写真③ 宴会場の設置例

能性や、作動の角度があるため扉からの出も大きくなり、車椅子の方の肩に当たることや子どもの目線の高さに角があることも懸念されます。

海外で主流のスイッチ型タイプもありますが、これは作動部分が限られております。これからは写真①のようなバータイプハンドル部分が大きく面で押せるようになっているタイプのパニックハンドルが主流となるでしょう。手が塞がっている場合でも、肘や腰を使ってさらに簡単に開けることができます。

パニックハンドルのメリット

パニックハンドルはレバーハンドルと違い、作動部は横に長くどこを押しても作動するようになっています。日本ではなじみの薄いパニックハンドルですので、このデザインではあらゆる初見の方が不自由なく使用できるのかという問題を感じるかもしれません。

そこで、内閣府認証特定非営利活動



写真④群 実験風景

法人 実利用者研究機構 (JITSUKEN) 様に協力いただき、7 特性 (肢体不自由、視覚・聴覚障がい、高齢者、子ども、乳幼児連れ、内部障がい) の方々にユニオンのオストアークを取り付け非常口から実際に避難していただく実験を行ないました。(写真④群)

結果は全員とも素早い非難ができました。“押す”だけで扉が開くということとはたとえ初見でも特別な説明文がなくとも、誰でも使用しやすいことが立証されたと考えています。

パニックハンドルのデメリットと対策

誰でも避難しやすいパニックハンド

ルですが、デメリットとしてはセキュリティであるかもしれません。当然外部からのセキュリティは保たれますが、現行多く使用されているアクリルの箱のような視覚的抵抗もなく、開放の履歴が残らないパニックハンドルは、内部からの逃走が容易いことや室内からの外部の人間などを簡単に招き入れたりすることに利用されるかもしれません。

この対策としては扉解放で非常ベルを鳴らし作動されたことを周知させることや、電気錠システムでの信号発信、防犯カメラとの連動などによって複合的に解決可能です。実際に電気錠対応型の製品も誕生し実用化されています。(写真⑤)



写真⑤ ホテル避難口の設置例